

衆議院議員

大串まさき

<https://m-ogushi.com> 国政報告

- 通常国会が閉会しました
- 未来に向けた政策提言
- 地元での活動

ゲンロック VOL. 41



大串まさき プロフィール

前 デジタル副大臣 兼 内閣府副大臣
元 経済産業大臣政務官 元 自民党副幹事長

- ▶ 昭和 41 年生まれ。報徳学園高卒。東北大学大学院修了。IH1、松下政経塾を経て J A I S T にて博士（知識科学）を取得。大学准教授の後に現職（4 期）。
- ▶ 社会保障・産業政策・デジタル改革等の分野に注力。
- ▶ 家族は妻と 2 人暮らし + 保護猫 1 匹（三毛猫）。趣味は釣り・絵画・多肉植物など。スポーツは高校まで剣道一筋。好きな食べ物はカレーとラーメン。座右の銘は「威ありて猛からず」。

お問い合わせ先

自民党の党員になって応援して頂ける方、ボランティアとしてお手伝い頂ける方、国政報告会への参加を希望される方など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6
-0851 グランドハイツコーワ 2-12
TEL:072-773-7601
FAX:072-773-7602

✉ info@m-ogushi.com



動画を配信中！

政策の解説からプライベートまで気軽に見られる動画を「X」「Instagram」「YouTube」で配信しています。右の QR コードからフォローしてください。



大串まさき 国政報告 自由民主党 兵庫県第六選挙区支部ニュースレター
ゲンロック 第 41 号 (令和 6 年 7 月 10 日号)

通常国会が閉会しました

第 213 回通常国会が 6 月 23 日に 150 日間の会期を終えて閉会しました。元旦の能登半島地震に始まった令和 6 年でしたが、ウクライナ紛争が続く中、令和 6 年度総予算を始め経済安保情報保護法、子ども・子育て支援法、入管法、農業基本法など多くの重要法案を成立させました。62 本の内閣提出法案のうち 61 本が成立し、極めて高い成立率となりました。さらに条約については 11 本全てが承認されました。特に令和 6 年度総予算は「歴史の転換点の中、時代の変化に応じた先送りできない課題に挑戦し、変化の流れを掴み取る予算」と位置付け、一般会計総額で 112 兆 5717 億円を計上しました。物価高に負けない賃上げの実現、こども政策、デジタル・GX 等の構造的な変化と社会課題、厳しさを増す安全保障環境への的確な対応や防衛力の着実な強化等、わが国が直面する内外の諸課題に対応する予算となっています。

一方で、今国会は政治資金を巡る問題に終始した国会となりました。私は初当選以来、無派閥議員として活動してきましたが、同じ党の仲間の不祥事については心よりお詫び申し上げます。一連の問題の再発防止や政治資金の透明化を図るため、各党の意見にも耳を傾け政治資金規正法を改正したところですが、十分な内容になっていないとのご批判も頂いています。私見を述べると、さらに進化させてより透明性の高いものにと考えています。政策活動費は廃止し団体間の寄附として透明性を高め、旧文通費も経費分は歳費に繰り入れて課税対象とし、残りは公設秘書の増員に充てる。これで資金集めをしなくても事務所の運営は十分可能です。また実務面・公正性を含めて、各資金は選挙管理委員会を通じて収支報告書で一元的に公開すべきと考えます。引き続き政治資金と党の改革を進めて参ります。

● 能登半島地震被災地の委員会視察

5 月 22 日、理事を務めます衆議院の厚生労働委員会の有志で能登半島地震被災地（金沢市内の 1.5 次避難所を含む）を視察しました。個人的な議員視察と異なり委員派遣としての視察でしたので、災害時の医療提供体制や避難所の環境整備の課題など、細かなヒヤリングをおこないました。災害救助法においては救急医療の概念はありますが、福祉の概念がなく結果的に避難所が介護施設の役割を担うことになり、社会機能を維持する上で大きな課題だと認識させられました。今回の視察の結果を法改正も含めて生かしていきます。



1 次避難所（珠洲市の小学校）の視察と復旧状況を確認



仮設住宅における相談支援事業の取組状況を視察



1.5 次避難所（金沢市内の体育館）での福祉的課題を聴取

未来に向けた政策提言

自民党では厚生労働部会長としての仕事のほか、さまざまな会議体の事務局長として、未来に向けた政策提言を取りまとめました。これらは「**骨太の方針 2024**」にも盛り込まれるように調整を進めてきました。来年度予算案の策定にも反映されますが、確実な予算確保と提言の実現に向けて引き続き注力して参ります。

● デジタル・ニッポン 2024

自民党のデジタル社会推進本部の年次提言「デジタル・ニッポン 2024」を事務局長として取りまとめて総理に提言しました。これまでデジタルインフラの整備を中心に議論を進めてきましたが、本年度のテーマは**データ利活用の推進**です。自治体業務の標準化の推進と支援、国際的なデータ連携基盤の構築、AI や web3 などの新技術への対応、防災・子育て支援などのデジタル化などの議論をまとめました。データ戦略をプロセス指向に再定義して挑戦的な内容も含まれていますが、本提言に基づいて来年度のデジタル政策の実行計画がとりまとめられ、着実にデジタル社会の実現に向けて進んでいます。



デジ本メンバーと総理に提言

● 次代の社会活力を形成する女性健康政策の推進

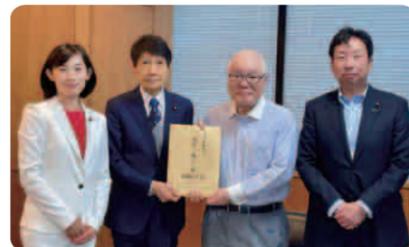
自民党の**女性の生涯の健康に関するプロジェクトチーム**の事務局長として、提言をまとめ総理に報告しました。生涯にわたる相談支援や健康のためのまちづくり、**女性の健康ナショナルセンター**の活用など、これまでの成果と併せて女性の健康政策をさらに進めていきます。



高階座長と総理に提言

● 医療情報の利活用及びゲノム医療の推進

ライフワークとしているデータヘルス分野ですが、今期も**医療情報政策・ゲノム医療推進特命委員会**の事務局長として関わっています。仮名加工医療情報を活用した医療研究や**全ゲノム解析等実行計画の推進**を通じて医療改革を進めます。



武見厚労大臣に提言

紅麹関連製品による健康被害への対応

大きな社会問題となっている紅麹関連製品（機能性表示食品）による健康被害問題について、自民党の消費者問題調査会と厚生労働部会で合同会議を開き対応を検討。今般の課題を整理し対応すべき点をまとめた「**機能性表示食品に関する健康被害情報の提供ルール及び機能性表示食品制度の信頼性を高めるための措置に関する提言**」を官房長官に申し入れました。これを受けて機能性表示食品制度の内閣府令を見直し、今後の被害防止への対策が進められます。

地元での活動

● 国政報告会を開催

伊丹、宝塚、川西各市で国政報告会を開催しました。多くの皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。昨今の政治資金を巡る問題について様々な報道もされておりますが、党内での議論を含めて正しい情報をお伝えしました。また、広く直近の政治・経済情勢などについても解説とともに私の見解を述べました。活動報告では、厚生労働部会長として関わっている医療政策や、デジタル社会推進本部の事務局長として取りまとめた提言の概要に触れながら、今後の医療やデジタル社会の課題・展望について解説しました。最後に岸田政権の成果と課題についてのご報告しました。



また、私が関わった政策の中でも比較的難解な診療報酬制度について、できるだけ分かりやすくお伝えしました。日頃より多くの政策に対して多様なご意見を頂くのですが、それらの意見を踏まえて、しっかりと丁寧な議論を進めています。「抜本的な改革」と言うのは簡単ですが、実際、制度の持続可能性を考えると多様な立場に対する配慮と丁寧さが必要です。その中で改革を進めていくという政策現場のリアリティが、少しでもお伝えできていたら嬉しいです。



● 地域の文化活動への支援

宝塚市小林地区の地車（だんじり）の改修にあたり、文化庁の「地域文化財総合活用推進事業」を活用して予算を確保するお手伝いをさせていただきました。地域で活用されている文化財などを改修する際に使いやすい国の補助予算で、これまでも何件かお手伝いしています。国会議員の仕事は国家全体に関わる仕事が多いのですが、それでも国の制度を活用して地域の課題解決に繋がることは地域の代表として、これからも丁寧に対応して参ります。



編集後記

国会は閉会しましたが、そのスケジュールとは別に来年に向けた党内の仕事が続いています。一方で地元も夏の行事が多くなる時期なので、地元と東京を行き来する頻度も高くなります。移動が大変だと思われる方も多いですが、

実際は移動時間で本を読んだり仮眠をとったりと有意義に過ごしています。地元の行事には、できるだけ参加したいと思っていますので、会の大小にかかわらず、ご案内いただければありがたいです。また、見かけたらお気軽にお声がけくだされば嬉しいです。